

# 第1学年 美術科

## 1 年間学習計画

学期	月	単元	内容	教科書・教材等
前期	4	「美術」とは何だろう	・中学校の美術の学習と社会との関連性や、美術の学習活動の目的や意味を考え、美術の学習に意欲的に取り組めるようにする。	<教科書> 美術との出会い (日本文教出版)  <副教材> 美術資料 (秀学社)  レタリング字典 (秀学社)
	5	知識・基礎①「デザイン基礎」 知識・基礎②「色彩基礎」	・教材の特性を知り、自分の意図した作品につなげられる。 ・色の基礎(色の三要素)の存在を知り、日常の中の色彩効果や組み合わせを学ぶ。	
	6	知識・基礎③「色彩構成」 知識・基礎④「レタリング」	・テーマのイメージに合った色彩構成をし、他者に伝える。 ・美しく、読みやすい文字をデザインするレタリングの機能を知り、明朝体とゴシック体について特徴を理解する。	
		～鑑賞・知識～ 「東京都の美術について」	・伝統工芸品や著名な芸術家の作品を鑑賞し、時代背景や作品の暗示を読み解く面白さを味わう。	
	7	～デザイン～ 視覚伝達「ポスター」 (キャリア教育)	・伝達機能としてのデザインの役割を知り、テーマを図案化する。 ・知識として得た色の効果を考え、平塗りの技能を生かし、美しく平面制作を行う。 ・社会の諸問題について考えることで、社会参画している一員としての自覚を促す。 ・人に訴えかけるメッセージを作品に託すことで自らの意見を他者に表明、表現する。またお互いの作品を鑑賞しながら自分の言動が他者の与える影響について理解することや、双方の個性を尊重する。	
後期	8			
	9	～絵画～ 知識・基礎⑤「デッサン」	・一番身近な描画材を使い、基本的な技術やものの形や明暗をよく観察して描く。 ・鉛筆の特性を理解し、多様な表現を追求するとともに心情の表現や感情を色や形で表現していく。	
	10	～デザイン～ 「文字のデザイン」 (キャリア教育)	・既習事項を生かしながら、デザイン・配色・レタリングの特徴を生かし、伝達効果の高い文字のデザインとイラストの工夫をし、発想力を鍛える。 ・ロゴやパッケージなどのデザインをするグラフィックデザイナーという職業を学び、身の回りや生活の中に多くのデザインが存在すること認識し、自らも思考し、制作することで、社会と関わりながら心豊かに生活創造していこうとする態度を養う。	
	1	～デザイン～ 『表現演習』	・マーブリング、スツパタリング、ドリッピング、デカルコマニー、にじみ、フロッターージュ、スクラッチなどを行う。プリントに6種類をまとめ、自分の資料にしていく。	
	2	～鑑賞・知識～ 「作品から観るモダンテクニックによる表現方法」	・ルネ・マグリットなどの著名な画家の作品を鑑賞し、どのような効果や表現になるのかを感じ取る。 ・多くに作品の中に隠されたモダンテクニックの技法を探し、表現方法としての良さを感じ、仲間と共有する。	
	～絵画～ 『空想の世界を旅する』	・美術の表現多様さや独特の表現形式や方法に関心を持ち、独自の世界観を学び理解する。 ・モダンテクニックを使って、現実にはない空想の世界を創造し、表現する。		
	1	～工芸～ 生活を彩る「和の連続文様」	・日本の伝統文様の成り立ちを知ること、興味をもち、自分の作品のイメージや発想へつなげる。 ・生活の中で彩られる工芸品の存在や意味を知り、自分の身近なものへの関心を深める。 ・連続文様の特徴やよさを活かし、文様単体と連続の場合の見方や感じ方の違いを考え、工夫し発想する。 ・日本をイメージした、自分オリジナルの連続文様を考える。	
	2			
	3	～デザイン・鑑賞～ アニメーション	・漫画とアニメーションの違いに気づき、『動き』に注目し、鑑賞する。 ・アニメーションの起源や歴史、種類、表現方法を学び、作品の発想へつなげる。	

## 2 観点別評価・評定・具体的な手立て

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	定期考査 作品 作品説明プリント	定期考査 作品・レポート・作品説明プリント プリント(鑑賞) アイデアスケッチ・下絵	学習をすすめる中で身の回りのものに興味関心を持ち、制作への意欲へつなげられる。作品へのまじめな姿勢。 提出物、授業準備、机上の整頓、発表
評価規準例	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・表現方法を創意工夫し、創造的に表現している。	・造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。
具体的な手立て	・基本的な表現の手段や方法を習得する。 ・制作の見通しを立てて、自分の表現に必要な材料や技法を選んで有効に利用する。 ・独自の表現をするための工夫をする。 ・美術作品や文化遺産などに親しみ、感性や想像力を働かせてよさや美しさを感じ取り味わい理解する。	・豊富なアイデアで、内容が変化に富んでいる。 ・アイデアの内容が目標にあっている。 ・アイデアの中から、意図にあった最良のものを選ぶ。 ・制作の見通しを立てる。 ・完成した作品の相互評価で、お互いの良さを発見する。	・課題に対して粘り強く、自ら学ぼうと意欲的に表現活動に取り組む。 ・授業中、私語なく集中して取り組む。 ・身近な制作しやすく整理する。 ・提出物は期限を守って確実に出す。 ・授業に必要なものを事前に準備し、計画的に制作をすすめる。 ・様々な課題にすすんで取り組む。

## 3 アドバイス

(1) 授業中に心がけること ・道具の扱いに注意し、使い方を理解して使いこなせるようにする。 ・説明をよく聞き、作業過程を把握し、計画性を持って作業を進める。 ・丁寧にじっくり集中して作業する。 (2) 家庭で心がけること ・忘れ物をしないように準備をしっかりする。 ・短時間のクロッキーなどを繰り返し練習する。 (3) 普段の生活で心がけてほしいこと ・身近な芸術作品に興味・関心をもつ。 ・図書やインターネットなどで有名な芸術作品について調べる。 ・美術館や博物館などで本物の芸術作品に触れる機会をできるだけ増やす。
--